

発表セッション	登録番号	演題番号	演題名	セッション日時	会場名
シンポジウム 「改訂版ガイドラインとエキスパート」	1007	S5	皮質下言語マッピングにおける線維描出の有用性	7月13日（土） 13:40~15:40	第1会場
	1024	S6	右半球前頭葉機能マッピングによる脳機能温存と腫瘍摘出率向上の取り組み		
	1001	S7	覚醒下脳手術のための超音波ガイド下頭皮ブロック		
	1003	S8	高齢者に対する覚醒下手術の適応基準と限界		
一般演題1	1000	01-1	右前頭葉神経腫瘍に対する覚醒下手術における当院の工夫	7月13日（土） 11:30~12:30	第2会場
	1006	01-2	頭頂葉グリオーマに対する覚醒下手術		
	1002	01-3	前頭斜走路（FAT）および前頭線条体路（FST）損傷後の回復に関する検討		
	1021	01-4	再考：前頭葉神経腫瘍に対する覚醒下手術		
	1013	01-5	転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療後の再発病変に対する覚醒下手術の有用性		
	1014	01-6	転移性脳腫瘍に対する覚醒下開頭腫瘍摘出術の検討		
	1005	01-7	後方言語野近傍の転移性脳腫瘍における覚醒下手術の一例		
一般演題2	1004	02-1	てんかん外科における覚醒下手術の適応と有用性	7月13日（土） 13:40~14:40	第2会場
	1012	02-2	Awake Surgery外科ガイドラインに基づく覚醒下手術中の痙攣発作コントロールの向上にむけて		
	1017	02-3	把握運動の強弱と皮質脳波の相関		
	1019	02-4	覚醒下手術における陰性運動野の局在と摘出後神経症状の経過		
	1029	02-5	Broca野近傍再発グリオーマ症例において覚醒下マッピング開始時から見られる言語機能低下		
	1020	02-6	グレード4悪性神経腫瘍に対する覚醒下手術の手術成績の検討		
	1015	02-7	術前データと術中情報を駆使し、機能維持と最大限摘出の両立を達成しえた覚醒下手術の1例		
一般演題3	1008	03-1	当院における脳深部刺激療法刺激電極埋め込み術の麻酔管理—神経ブロックによる対処	7月13日（土） 14:50~15:40	第2会場
	1009	03-2	当院での覚醒下脳腫瘍摘出術における麻酔管理の後方視的検討		
	1025	03-3	血中及び脳中プロポフォール薬物動態モデルに基づく覚醒不良症例の原因探索		
	1018	03-4	肥満患者における覚醒下脳腫瘍摘出術の麻酔管理にレミマゾラムを使用した症例		
	1022	03-5	Awake craniotomy中に再挿管が必要となった症例		
	1016	03-6	覚醒下手術での当施設における気道確保の方針と問題点		
一般演題4	1028	04-1	小児の覚醒下脳手術における周術期合併症と治療予後	7月13日（土） 15:50~16:40	第2会場
	1023	04-2	神経腫瘍患者における覚醒下手術中の患側握力と術前の皮質脊髄路および術後日常生活活動の関係		
	1011	04-3	覚醒下開頭腫瘍摘出術周術期における磁気センサを用いた手指機能の定量的評価の試み—単一症例による探索的解析		
	1027	04-4	音楽創作能力の温存に工夫を要したWeb音楽クリエイターに対する覚醒下手術の経験		
	1026	04-5	楽器演奏能力を温存して社会復帰を目指した小学校教員の1例		
	1010	04-6	日本語およびベトナム語(母国語)の言語タスクによるマッピングを行なったOligodendrogliomaの症例		